

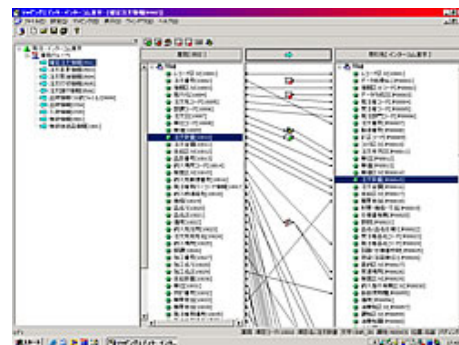
2005年2月7日

# 次世代ERPコンソーシアム、インフォベック（株）と業務提携 各業界のノウハウを結集したERPパッケージ「GRANDIT」とのデータ連携 を実現する EDIパッケージ「MegaBRIDGE for GRANDIT」を2005年3月28日より 販売開始！

通信ソフトの開発メーカーである株式会社インターコム（本社：東京都台東区、社長：高橋 啓介）はこのほど、次世代ERPコンソーシアム事業の推進母体であるインフォベック株式会社（本社：東京都千代田区、三浦 進 社長）と業務提携し、業界初の完全Webプラットフォームにより実装されたERPパッケージ「GRANDIT（グランディット）」とのシームレスなデータ連携を実現する統合EDI（電子データ交換）ソリューションパッケージ「商品名：MegaBRIDGE for GRANDIT（呼称：メガブリッジ・フォー・グランディット）」を2005年3月28日より販売開始します。



MegaBRIDGE  
環境設定画面



MegaBRIDGE  
マッピングツール画面

### ■ MegaBRIDGE 製品情報ページ：<https://www.intercom.co.jp/edi/mega/>

MegaBRIDGEでは、連携ERPパッケージのラインアップにGRANDITを加えることで、特に中堅企業市場におけるEDIシステムの導入を強化します。次世代ERPパッケージGRANDITは、各業界を代表するコンソーシアム参加各社に蓄積された業務ノウハウ、運用ノウハウが集大成されており、日本における幅広い業界の商習慣に適合したERPとなっています。またGRANDITは「経理」「債権」「債務」「販売」「調達・在庫」「製造」「人事」「給与」「資産管理」「経費」の合計10個のモジュールにより構成されており、必要な機能のみを実装することができるため、あらゆる業界の中堅企業へERPの導入が一層進むものと思われます。GRANDITでは、受注、発注、出荷、入荷の各機能にEDI機能が実装されていますが、より大規模で複雑な企業間取引に対応するためにEDI機能を強化する必要性がありました。そこで今回の業務提携により、インターコムがMegaBRIDGE for GRANDITを提供することになりました。

MegaBRIDGE for GRANDITは、主に大企業などで運用されているレガシーEDIと、低コストで導入・運用ができるため急速な拡大を見ているインターネットEDIの両機能に対応した統合EDIソリューションパッケージで、

GRANDIT (ERP) とのシームレスなデータ連携を実現する専用ユーティリティが標準で搭載されています。従来、ERPの導入、さらにはERPとのデータ連携を実現するEDIシステムの導入には、多くの工程をかけてカスタマイズ (特注開発) する必要がありました。より高度で複雑な企業間取引を必要とするGRANDIT導入企業がEDIシステムを導入する場合、ERP連携ユーティリティが標準搭載されたMegaBRIDGEを選択できるため、従来の方法に比べ飛躍的に導入しやすくなります。このため企業間取引規模に関わらずERPの導入時、または導入後でもERP-EDI連携ソリューションの稼動を短期間で実現することができます。

今後は両社において、中堅・中小企業が目指す経営のスピード化と企業間競争力の強化を実現するため、ERP-EDI連携ソリューションを協同で提供していきます。

#### ■ インフォベック株式会社様からのご賛同文

弊社では、業界初となる完全ピュアウェブによる次世代ERP「GRANDIT (グランディット)」を2004年5月にリリースいたしました。GRANDIT (グランディット) の製品の特徴の一つとして、BI (ビジネスインテリジェンス)、EDI、ワークフローの標準装備があげられますが、今回の株式会社インターコム (MegaBRIDGE (新EDI)) との提携により、今後より高度なEDI分野でのソリューションを提供できるものと期待しています。

インフォベック株式会社 代表取締役社長 三浦 進

#### ■ 次世代ERP「GRANDIT」について

2004年5月に販売を開始したGRANDIT (グランディット) は、コンソーシアム方式により業界を代表するSI企業のノウハウを集大成した第3世代ERPで、経理、債権、販売、調達・在庫、製造、人事、給与、資産管理、経費の計10モジュールにより構成されています。GRANDITは業界初の完全Webプラットフォームにより実装されたERPで、BI (ビジネスインテリジェンス)、EDI、ワークフロー等を標準搭載し、中堅企業ながら、大企業にも必要とされる機能を豊富に盛り込んだERP製品です。

インフォベック株式会社ホームページ <http://www.infovec.co.jp/>

#### ■ EDIパッケージ「MegaBRIDGE」について

MegaBRIDGEは、VANや公衆回線を利用して製造業や流通・物流業界などで標準的に使われているJCA手順<sup>※1</sup>や全銀協手順<sup>※2</sup>などの通信方式で行うバッチ処理型のレガシーEDIと、WebサイトやEメールなどを利用して行うリアルタイム型のインターネットEDIの両機能を1パッケージに統合した、あらゆる企業間オンライン取引に対応可能なEDIソリューションパッケージです。

本商品に標準で搭載されているERPとのデータ連携ユーティリティでは、テンプレート化されたERP側のデータフォーマットとEDI側の取引先ごとのデータフォーマットを簡単な操作でマッピング (両側にある各項目を一対一で正しく対応させること) ができますので、双方向で受発注データの正確な受け渡しが可能になります。このERP連携ユーティリティは、エンドユーザーレベルでも設定や変更ができ、EDI導入時や拡張時に発生するERP-EDI間のデータ連携に要する手間と時間を大幅に削減することが可能になります。

※1 日本チェーンストア協会 (JCA) が制定した通信手順。

※2 全国銀行協会 (全銀協) が制定した通信手順。

---

## 商品概要 / 販売スケジュール

商品名 : MegaBRIDGEfor GRANDIT (メガブリッジ・フォー・グランディット)

システム環境 : 日本語Microsoft Windows Server 2003、Windows 2000 Server 対応

発売日 : 2005年3月28日

価格 : オープン価格

販売予定 : 2008年度に3億円

製品情報ホームページ : <https://www.intercom.co.jp/edi/mega/>

製品画像 : <https://www.intercom.co.jp/press/imgdata/2005/>

---